

## 2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月12日

上場会社名 日和産業株式会社  
 コード番号 2055 URL <http://www.nichiwasangyo.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中澤 敬史  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長・総務部長 (氏名) 安井 秀夫

TEL 078-811-1221

四半期報告書提出予定日 2019年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	20,628	3.9	230	11.3	288	10.2	199	7.0
2019年3月期第2四半期	19,853	0.3	260	50.9	320	43.5	215	45.3

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 166百万円 ( 41.7%) 2019年3月期第2四半期 285百万円 ( 34.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	10.36	
2019年3月期第2四半期	11.13	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	27,536	17,519	63.6
2019年3月期	28,381	17,449	61.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 17,519百万円 2019年3月期 17,449百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		5.00	5.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	2.1	600	94.4	700	64.2	400	57.2	20.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	20,830,825 株	2019年3月期	20,830,825 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2020年3月期2Q	1,518,735 株	2019年3月期	1,518,735 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	19,312,090 株	2019年3月期2Q	19,312,099 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資の増加や所得環境の改善による堅調な個人消費により、緩やかな回復傾向にあります。長期化が予想される米中貿易摩擦や悪化する日韓関係等による影響が懸念され、先行き不透明な状況にあります。

配合飼料業界におきましては、主原料であるとうもろこしは、南米での増産、豊作見通しで価格は軟調に推移したものの、米国の長雨により作付が大きく遅れ価格は急騰しましたが、その後の天候回復で価格は落ち着きました。

副原料である大豆粕は、米中貿易摩擦による中国の輸入量減少により価格は下がりましたが、とうもろこしと同様に大豆の作付も遅れ価格は上昇しました。その後、天候が回復したことから価格は落ち着きました。

また、外国為替相場については、引き続き米国の金利が引き下げられた事や、世界的な金融緩和方向で緩やかに円高に推移しました。

このような状況のなか、当社は4月と7月の2度にわたり、配合飼料価格の値下げを行いました。

畜産物市況につきましては、鶏卵相場は生産量調整により回復の兆しを見せておりますが、鶏肉相場は生産量の増加により軟調に推移しました。豚肉相場は、猛暑の影響により生産量が減少し、需要が伸びずに若干軟調に推移しました。牛肉相場は堅調に推移しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は206億28百万円（前年同期比3.9%増）となりました。利益面につきましては、営業利益は2億30百万円（前年同期比11.3%減）となり、経常利益は2億88百万円（前年同期比10.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億99百万円（前年同期比7.0%減）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

#### 飼料事業

売上高は198億49百万円（前年同期比3.4%増）となり、セグメント利益（営業利益）は2億62百万円（前年同期比56.7%減）となりました。

#### 畜産事業

売上高は7億78百万円（前年同期比17.2%増）となり、セグメント利益（営業利益）は62百万円（前年同期のセグメント損失（営業損失）は18百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ8億45百万円減少し、275億36百万円となりました。これは、主に現金及び預金が4億55百万円、有形固定資産が2億54百万円、原材料及び貯蔵品が1億24百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が16億22百万円減少したことによるものです。

#### (負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ9億15百万円減少し、100億16百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が6億59百万円減少したことによるものです。

#### (純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ70百万円増加し、175億19百万円となりました。これは、主にその他有価証券評価差額金が36百万円減少したものの、利益剰余金が1億3百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月13日に公表した連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,112,531	9,568,263
受取手形及び売掛金	9,926,891	8,304,775
商品及び製品	172,197	173,421
仕掛品	343,880	379,908
原材料及び貯蔵品	2,056,136	2,180,516
その他	320,787	290,833
貸倒引当金	△144,851	△148,737
流動資産合計	21,787,573	20,748,980
固定資産		
有形固定資産	4,484,906	4,738,950
無形固定資産	11,324	10,307
投資その他の資産		
長期貸付金	1,675,095	1,698,449
破産更生債権等	1,429,426	1,295,626
その他	796,006	755,665
貸倒引当金	△1,802,806	△1,711,514
投資その他の資産合計	2,097,721	2,038,227
固定資産合計	6,593,952	6,787,486
資産合計	28,381,526	27,536,466
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,248,410	4,589,299
短期借入金	4,269,000	4,269,000
未払法人税等	59,275	98,701
賞与引当金	100,841	104,381
その他	1,146,068	849,755
流動負債合計	10,823,595	9,911,137
固定負債		
長期末払金	84,240	84,240
退職給付に係る負債	23,927	21,146
固定負債合計	108,167	105,386
負債合計	10,931,763	10,016,524
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,011,689	2,011,689
資本剰余金	1,904,186	1,904,186
利益剰余金	13,599,760	13,703,184
自己株式	△295,760	△295,760
株主資本合計	17,219,875	17,323,299
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	224,926	188,863
繰延ヘッジ損益	4,961	7,780
その他の包括利益累計額合計	229,888	196,643
純資産合計	17,449,763	17,519,942
負債純資産合計	28,381,526	27,536,466

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	19,853,899	20,628,793
売上原価	18,306,001	19,270,045
売上総利益	1,547,898	1,358,747
販売費及び一般管理費	1,287,601	1,127,780
営業利益	260,296	230,966
営業外収益		
受取利息	15,275	16,962
受取配当金	11,155	12,045
売電収入	30,527	28,756
為替差益	27,129	16,518
その他	30,640	37,323
営業外収益合計	114,728	111,607
営業外費用		
支払利息	29,194	28,177
売電費用	17,696	15,936
その他	7,368	10,299
営業外費用合計	54,259	54,413
経常利益	320,765	288,161
税金等調整前四半期純利益	320,765	288,161
法人税等	105,731	88,177
四半期純利益	215,033	199,984
親会社株主に帰属する四半期純利益	215,033	199,984

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	215,033	199,984
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	57,464	△36,063
繰延ヘッジ損益	13,396	2,818
その他の包括利益合計	70,860	△33,244
四半期包括利益	285,894	166,739
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	285,894	166,739
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。